

変更Ⅰ：作成スケジュールの見直し

現状1 最上位計画の「尼崎市総合計画」のPDCAとなる『施策評価表』（※3月末に一次提出）を反映するため、毎年12月～翌年1月頃に「尼崎市障害者計画等」の『評価・管理シート案』を作成しているが、時期的に暫定的(不確定)な内容が多くなることや、その内容で外部評価を聴取せざるを得ない。

現状2 毎年4月以降に行う『施策評価表』の内部調整や最終評価の結果次第で、上記の「評価・管理シート案」の内容が大きく変更されるため、外部評価との齟齬や事務局による再整理等が発生している。

※ 施策評価表の作成スケジュールは確立されており、年度末に一次提出、翌年度の5月に二次提出となっている。

より効果的な外部評価の聴取と事務の効率化を目的として、① 評価・管理シート案の作成時期を5～7月頃に、② 外部評価の聴取時期を8月頃に変更する

変更Ⅱ：様式の見直し

現状3 「尼崎市総合計画」のPDCAである『施策評価表』と「尼崎市障害者計画等」の『評価・管理シート』の内容（取組方向など）について、より整合性や関連性を高め、その内容をもって外部評価を聴取することで、本市の主要事業等の取組へと繋げていく必要がある。

現状4 「尼崎市障害者計画」全体の取組項目は63項目と非常に多く、現行の『評価・管理シート』のページ数が膨大となっている。また、経年の動きが少ない施策の取組状況や評価もすべて継続して記載しているため、直近の動きやトピックスが分かりづらく、市民向けに読みづらい媒体となっている。

施策評価表との整合・関連性や見やすさ・分かりやすさの向上を目的として、
① 施策評価表と同様に単年度ベースでの要点・評価を基本とする形で様式を変更する、
② ①に記載しない関連事業等の進捗管理や評価については、別様式で行う。